

事業番号	02 05 02	事業改善シート（30年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり				
	3-9 本州中央部広域交流圏の形成					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、少子高齢化やモータリゼーションの進展などの影響により旅客輸送人員が減少し、鉄道事業者の自助努力のみでは県内鉄道路線を維持し、駅舎のバリアフリー化など時代の新たな要請に対応してサービス向上を図ることが困難となっている。				30年度 決算額	157,662 千円				
	○北陸新幹線は平成9年10月に高崎・長野間が、平成27年3月に長野・金沢間が開業した。また、平成24年に着工された金沢・敦賀間については令和4年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間のルートについては、平成29年3月に全区間が決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。				職員数	3.00 人				
目指す姿	○地域の鉄道路線活性化のための取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対して支援することにより、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道路線の維持と機能向上を目指す。 ○北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。 (主な実施内容: 鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、視覚障がい者の鉄道駅ホームからの転落防止のために設置する内方線付き点状ブロック整備に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動 など)									
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況					
	予算額	前年度繰越	20,000	52,185		成果指標	29年度	30年度		
		当初予算	161,539	179,612	434,271		目標値	成果	達成状況	
		補正予算	35,294	-26,764		① 県内鉄道キロの維持	788.5km	788.5km	788.5km	達成
		合計(A)	216,833	205,033	434,271		② 鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	0件	0件	0件
	Aの 財源	一般財源	144,803	156,983	158,321	③ 内方線付き点状ブロック整備駅数 (平均利用者数10,000人/日以上)	—	5駅	5駅	達成
		県債	72,000	48,000	273,000					
		国庫支出金								
		その他	30	50	2,950					
	決算額(B)	164,648	157,662							
概算 人件 費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	成果指標 設定理由	①・②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定 ③H30年度までに1日の利用者10,000人以上の駅については内方線付き点状ブロックを整備するという国の方針を達成するため、内方線付き点状ブロック整備駅数を成果指標に設定				
	概算人件費(C)	24,306	24,654	24,654						
概算事業費(B(A)+C)	188,954	182,316	458,925							
備考										
目標に対する 成果の状況	①沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。 ②鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。 ③長野電鉄長野駅に内方線付き点状ブロックを設置し、利用者の移動円滑化に寄与した。									

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	①各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持 ②施設の老朽化や駅のバリアフリー化に係る鉄道事業者の設備整備に対する支援	①同盟会を始めとした各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道路線の維持に努める。 ②鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組みに対し、車両更新や設備整備の支援を行う。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		鉄道振興対策事業費	①地域鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助金 ②鉄道事業者が行う鉄道駅における内方線付き点状ブロック等の設置に対する補助金 ③在来線を活性化するために沿線市町村等で組織された期成同盟会の負担金	2.00	177,812	155,862	432,471
2		北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進に向けて沿線都府県等で組織された期成同盟会の負担金	1.00	1,800	1,800	1,800
合計				3.00	179,612	157,662	434,271

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	鉄道振興対策事業費			部局	企画振興部	課・室	交通政策課			
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	30年度				
							29年度 当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
1	鉄道振興対策事業費	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う。 補助対象事業者：長野電鉄㈱、しなの鉄道㈱、上田電鉄㈱、アルピコ交通㈱	計画通り ○	139,389	171,129	171,129	△ 26,764	154,454
1	鉄道振興対策事業費	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	視覚障がい者の旅客駅ホームからの転落防止を図るため、必要な内方線付き点状ブロックの整備に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】	鉄道駅における段差解消のため、必要な内方線付き点状ブロック等の設置に対して補助を行う。 補助対象事業者：長野電鉄㈱	計画通り ○	20,000	6,333	6,333		1,058
1	鉄道振興対策事業費	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	・要請活動（11月） ・啓発、広報、利用促進活動	計画通り ○	150	150	150		150
1	鉄道振興対策事業費	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	・要請活動（11月） ・啓発、広報、利用促進活動	計画通り ○	200	200	200		200
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等	・建設促進等に係る国等への要望活動（春・夏） ・建設促進に関する調査研究及び広報等	計画通り ○	1,800	1,800	1,800		1,800
合 計							161,539	179,612	179,612	△ 26,764	157,662